



穂高クリーンセンター

問題のあるごみの出し方の例（表2）

●全般

- ▷他の自治体のごみ袋に入っている。または、安曇野市指定のごみ袋に入っていない。
- ▷業者の収集が終わった後に出されている。
- ▷粗大ごみなど、集積所では収集できないごみが出されている。

●もえるごみ

- ▷40cmを超えるものが入っている。

●もえないごみ

- ▷使用済小型家電が入っている。

●資源物

- ▷汚れたものが入っている。
- ▷プラスチック製容器包装の中に、パケツなどのプラスチック製品そのものが入っている。
- ▷蛍光管の収集日に白熱電球やグローランプが出されている。



収集できなかったタイヤの例

一人ひとりがごみの分別・出し方を守ることが、住みよい地域をつくる第一歩となります。ご協力をお願いします。

安曇野市のごみは、原則安曇野市において処分しなければなりません。松本市が行った調査で、安曇野市の住民が松本クリーンセンターにごみを持ち込んでいる事例が確認されました。他の自治体にごみを持ちこまないでください。

ごみは自区内処理が原則
松本市へごみが持ち込まれた例も

再確認！ごみの出し方

ごみの出し方を見直し、住みよい地域をつくりましょう。

ごみを出す際はルールを守りましょう!!

表2は、今年度実際に収集できなかったごみ・資源物の例です。委託業者が収集できない理由を書いた黄色いシールを貼って置いていきます。出した人はいったん持ち帰り、シールに書かれた内容を見て再度分別を行い、次回の収集日に出してください。

ごみ減量は地球を救う



皆さんは正しくごみを出していますか。ごみを適正に処理することは、私たちが暮らしている地球を美しく保つために、重要な意味を持っています。そこで今回は、身近なごみの問題や減量について考えてみましょう。

図廃棄物対策課廃棄物対策担当 TEL 71・2490 FAX 72・3176

●ごみ排出量の少なさ都道府県別ランキング（表1）

順位	県名	ごみ排出量	前年度順位
1位	長野県	838 グラム	2位
2位	沖縄県	844 グラム	1位
3位	熊本県	846 グラム	3位
参考	平均	947 グラム	-

環境省：一般廃棄物処理事業実態調査（平成26年度）



ごみ処理の様子（穂高クリーンセンター）

ごみの減量は家庭から
排出されるごみの多くを占める家庭のごみ。ごみの減量はこうしたらできるでしょうか。

長野県はごみ排出量の少なさ日本一!!
環境省が公表する「ごみ排出量の少なさの都道府県別ランキング」で、長野県は初めて「ごみ排出量の少なさ日本一」になりました。

そのうち、市のごみ排出量は一人一日あたり79.4グラムと、県全体の平均より少ない値でした。

美しい自然を次世代へと引き継ぐための取り組みが、日本一であり続けることにつながります。

生ごみの削減と分別が鍵
日本の1日のごみ総排出量は443.2トン、東京ドーム約119杯分が毎日排出されています。

そのうち、約65%を占める家庭から排出されるごみを減らすことは、大きなごみ減量と環境保全につながります。まだ食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）や、正しく分別することによりサイクルできる資源をごみとして処分してしまうことは、環境にも家計にも大きな影響を与えます。私たちにもできることからごみの減量を始めましょう。